

【基礎枠】SSHとしての指定

リーディング期（先導期～）

科学技術人材育成システム改革を
先導

【発展期】（Ⅲ期・Ⅳ期）

自らの強み・特色を深化・恒常化し
域内外に波及する取組を確立

【創成期】（Ⅰ・Ⅱ期）

SSH指定校としての取組・体制等
の実施・確立

・ 認定枠

全国的なモデルとしてこれまでの
研究開発の成果を基にした多
様な実践活動を展開・普及

・ 基礎枠

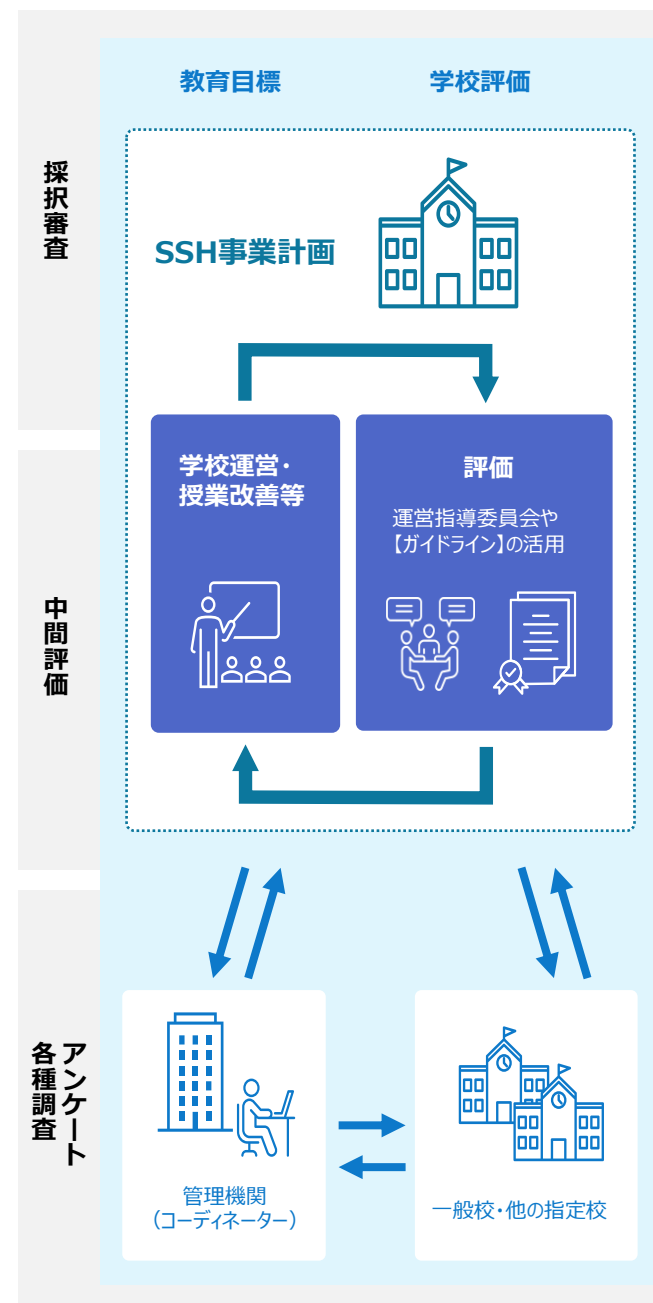
自然科学を主とする先進的な理数系教
育に関する研究開発を実施

・ 文理融合基礎枠

社会の諸課題に対応するため、自然科
学の「知」と人文・社会科学の「知」との融
合による「総合知」を創出活用した先進
的な理数系教育に関する研究開発を実
施

【重点枠】

科学技術人材の育成に係る更なる取組を実施
— 高大接続、広域連携、海外連携、革新共創



SSHガイドライン：SSH基礎枠の審査の観点

期数を重ねるごとに、過去の実績をふまえた深化が求められる

創成期



発展期



リーディング期



研究開発
計画



- ・明確な**目的・目標**、SSH事業の目的に沿った適切な内容
- ・入学～卒業の期間を対象とした**課題研究等中心**のプログラム

- ・**実現可能性**
- ・データに基づいた**成果の分析・評価**

- ・研究開発テーマの**重要性**
- ・**教育課程やSSHへの寄与**

研究開発
体制・
マネジメント



- ・学校全体で組織的に取り組む体制
- ・研究開発成果を**検証・評価**する計画・方法の確立

- ・研究開発成果の**進捗管理、改善**する仕組み
- ・**運営指導委員会等からの助言**を踏まえた改善

- ・実現可能な**外部との連携体制**
- ・適切な**成果の検証・評価**
- ・機能する**マネジメント**の仕組み

教育課程関連等の
研究開発内容



- ・**理数系教育の重視**や**課題発見・解決能力、科学的思考力**の育成等、**適切な教育課程の研究開発**
- ・科学的な探究活動としての「**課題研究**」等を**教育課程上に設定**、その内容の充実を図る取組
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの**授業改善**を図る取組
- ・カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた、課題研究や探究活動と**通常の教科・科目との連携**

- ・成果をふまえた**優れた教育課程**の構築
- ・**授業改善**を図る組織的な取組
- ・全校的な指導体制、外部人材の効果的活用等、**指導体制の充実**
- ・**教員の指導力向上、SSH業務マネジメント向上のための研修等の組織的・積極的な実施**

指導体制



- ・校内の指導体制の整備、外部人材の効果的な活用、効果的な授業形態やクラス編成等
- ・**教員の指導力向上、SSH業務マネジメント向上**のための研修等の実施

その他の
研究開発内容



- ① SSH指定校の主体的な取組としての**大学や研究機関、産業界との効果的な連携**
- ② **地域や他の小中高校等との連携**を図るための効果的な取組
- ③ **国際性の育成**（外国語によるコミュニケーション能力や研究発表能力等の育成を含む）
- ④ 理数系の**教育課程外**の活動の充実（科学部等の活動、科学技術コンテスト等への出場）
- ⑤ **理工系領域を志す女子生徒の育成** ※①～⑤から、創成期は原則2つ、発展期以降は2つ以上実施

- ・**研究開発成果の積極的な発信・普及**（教材等の活用、HPのアクセス数の把握、雑誌・メディア等での取り上げ、視察及び研修の受入れ等）
- ・**他校等へのノウハウの共有・継承**などの積極的な取組

成果共有・発信

- ・**学校内**での研究開発の**成果の共有・継承**や、成果の**対外的な発信・普及**に向けた取組

管理機関の取組

- ・事業目的に沿った**明確な考えや戦略**
- ・適切な**成果発信・普及**の取組や、研修事業等における**積極的な活用**

- ・適切な取組の**管理方法や管理体制の構築**
- ・申請校に対する適切な支援

中間評価・経費等

- ・前回の**中間評価結果からの改善状況**
- ・計画を実施するための**適切な費用**の計上

※先導期は、上記に加え「これまでの取組状況や将来の構想」として、**優れた成果や独創的な取組**の計画、**外部資金確保**、域内外への**成果普及**等の計画が評価される。

研究開発体制 ・マネジメント 	創成期	発展期	リーディング期	認定枠
観点	実施する取組例			
【創成期→発展期】 - 学校長の下で、他教科を含めた学校全体として組織的に研究開発に取り組む体制や、それを支援する体制が確立されていること - 学校長の下で、研究開発成果の進捗管理を行い、定期的な確認等を踏まえ、計画・方法を改善していく仕組みが確立されていること - SSH事業全体の研究開発成果を検証・評価するための具体的な計画・方法が確立されていること - 運営指導委員会等外部からの助言を踏まえた検討を行い、SSH事業全体や個々の取組を改善する体制が確立されていること	◆ 学校全体で組織的に研究開発に取り組む体制の開発 - 効果的な取組であるか常に見直し・改善するスキームの開発 - 進学実績や自己評価アンケート等に限らない、複数の指標・手法による多面的かつ客観的な評価システムの開発 - 多様な客観的立場から指導・助言が受けられるような運営指導委員会の体制の構築 - 卒業生の追跡調査の実施、結果の分析			- 学校全体で組織的に研究開発に取り組む体制の定着及び普及方法の検討 - 効果的な取組であるか常に見直し・改善するスキームの定着及び普及方法の検討 - 進学実績や自己評価アンケート等に限らない、複数の指標・手法による多面的かつ客観的な評価システムの定着及び普及方法の検討 - 卒業生の追跡調査の実施、結果の分析
【発展期→リーディング期】 - 地域や大学、研究機関、産業界との連携等、提案する研究開発内容において実現可能な外部との連携体制がSSH指定校の主体的な取組として確立されていること - SSH事業全体の研究開発成果を検証・評価するための具体的な計画・方法が十分に確立されていること - 研究開発のためのマネジメントの仕組みが十分機能するものとなっていること	- 大学院進学率・進学希望率の上昇、博士号取得者数の増加に向けた取組の導入 ◆ 外部の研究費や寄附金を活用した自走化に向けた具体的な計画の作成			- 大学院進学率・進学希望率の上昇、博士号取得者数の増加に向けた取組の実施 - 外部の研究費や寄付金を活用した自走化に向けた具体的な計画の作成

教育課程関連等の研究開発内容 	創成期	発展期	リーディング期	認定枠
観点	実施する取組例			
【創成期→発展期】 - 理数系教育の重視や課題発見・解決能力、科学的思考力（論理的思考力を含む。）の育成等、将来の科学技術人材の育成に向けて、成果や課題を踏まえた教育課程の編成となっていること - 科学的な探究活動である「理数探究」等が教育課程上で中核的な役割を果たす位置付けとなっていること - SSHの狙いを踏まえて、理数系教科・科目を中心に各教科・科目において主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る取組が行われていること - カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた、課題研究や探究的な学習活動と通常の教科・科目との連携が図られていること	◆ 「理数探究基礎」「理数探究」等の科学的な探究活動を全校生徒を対象に3年間設定【3年間を通じて6単位程度】 • 文系生徒における科学的リテラシー育成に係る取組の導入 ◆ 一般の教科・科目における、生徒が主体的に探究する活動や、体験や観察に基づいた活動の実施 • 教科融合型の学校設定科目の設置や、各教科における探究活動の実施 • 地域や学科の特色を生かした探究活動・課題研究の実施			◆ 「理数探究基礎」「理数探究」等の科学的な探究活動を全校生徒を対象に3年間設定【3年間を通じて6単位程度】 • 文系生徒における科学的リテラシー育成に係る取組の実施及び普及方法の検討 ◆ 一般の教科・科目における、生徒が主体的に探究する活動や体験や観察に基づいた活動の定着及び普及方法の検討 • 教科融合型の学校設定科目の設置や、各教科における探究活動の定着 • 地域や学科の特色を生かした探究活動・課題研究の実施、普及方法の検討
【発展期→リーディング期】 - SSH指定校として優れた教育課程を構築していること - 各教科・科目において授業改善を図る取組がSSH指定校としての体制の中で組織として十分に実施していること	• 全ての授業で狙いの達成度を評価する仕組みの定着・強化			

指導体制 	創成期	発展期	リーディング期	認定枠
観点	実施する取組例			
【創成期→発展期】 - 校内の指導体制(数学と理科の連携、数学・理科と他教科との連携等も含め)が全校的な取組となっていること - 外部人材の効果的活用、効果的な授業形態やクラス編成等が適切なものとなっていること - 教員の指導力向上やSSH業務マネジメント向上のための研修等が、十分に実施されていること 【発展期→リーディング期】 - 全校的な指導体制、外部人材の効果的活用等、課題研究における指導体制の充実が図られていること - 教員の指導力向上やSSH業務マネジメント向上のための研修等、組織的な取組が積極的に実施されていること	◆ 理科・数学以外の教師も含めた全校体制による研究開発の実施 ◆ 数学と理科、数学・理科と他教科の教科間連携の実施 - 指導マニュアルの作成や新たに着任した教師向けのオリエンテーション等の実施 - 校内研修【年3回以上】や他校との合同研修【年1回程度】等の実施 - 卒業生のTA・メンターとしての活用や大学・地元企業の研究者等によるサポート体制の開発			◆ 理科・数学以外の教師も含めた全校体制による研究開発の実施及び普及方法の検討 ◆ 数学と理科、数学・理科と他教科の教科間連携の定着 - 指導マニュアルの活用や新たに着任した教師向けのオリエンテーション等の実施及び普及方法の検討 - 校内研修【年5回程度】や他校との合同研修【年1回以上】等の実施及び普及方法の検討 - 卒業生のTA・メンターとしての活用や大学・地元企業の研究者等によるサポート体制の定着
	◆ 理科・数学以外の教師も含めた全校体制による研究開発の定着 ◆ 数学科と理科、数学・理科と他教科の教科間連携の強化 - 指導マニュアルの改善や新たに着任した教師向けのオリエンテーション等の拡充 - 校内研修【年5回以上】や他校との合同研修【年1回以上】等の実施 - 卒業生のTA・メンターとしての活用や大学・地元企業の研究者等によるサポート体制の拡充 - オンラインの活用による課題研究に係る進捗状況の把握			

その他の 研究開発内容  	創成期	発展期	リーディング期	認定枠
観点	実施する取組例			
【創成期→発展期】 - 大学や研究機関又は産業界との効果的な連携に主体的に取り組んでいること - 地域との連携、他の高等学校や小中学校等との連携を図るための効果的取組を実施していること - 国際感覚等を育てるための効果的な取組を実施していること - 科学部等理数系の教育課程外の活動を充実するための効果的な取組を実施していること - 生物、医学系に限らない理工系領域を志す女子生徒を育成する効果的な取組を実施していること	- 複数の大学・研究機関や企業との学校主導による連携、OB・OGの活用 - 生徒の興味関心に応じた対応を可能とする外部機関との連携体制の構築 - 大学や企業等との共同研究の実施、他校の参画の受入れ - 総合型選抜・学校推薦型選抜や、大学入学後の単位認定制度の導入、高大接続の入試改革の検討 - 小中学生への研究発表や他校との共同研究の実施【年1回以上】 - 国際会議・大会への参加【卒業までに1回以上】 ◆ 国際共同研究・国際交流の実施【年1回以上】 - 外国語によるプレゼンテーション・ディスカッションの機会の確保【年1回以上】 - 科学部等の理数系の教育課程外活動と教育課程内活動との連携の実施 - 各分野の科学部への参加者数増加に向けた取組の実施 - 理数系コンテストへの参加者数の増加に向けた取組の実施 - 女子生徒の理系選択者数増加に向けた取組の実施 - 女性研究者による講演等の開催、保護者・教員への情報提供【年1回以上】			- 複数の大学・研究機関や企業との学校主導による連携の定着、OB・OGの活用 - 生徒の興味関心に応じた対応を可能とする複数の外部機関との連携体制の定着 - 小中学生への研究発表や他校との共同研究の実施【年1回以上】 - 国際会議・大会への参加【年1回程度】 ◆ 国際共同研究・国際交流の実施【年3回以上】 - 外国語によるプレゼンテーション・ディスカッションの機会の確保【年2回以上】 - 科学部等の理数系の教育課程外活動と教育課程内活動との連携の定着及び普及方法の検討 - 各分野の科学部への参加者数増加に向けた取組の定着及び普及方法の検討 - 理数系コンテストへの参加者数増加に向けた取組の定着及び普及方法の検討 - 保護者・教員への情報提供を含む、女子生徒の理系選択者数増加に向けた取組の定着及び普及方法の検討
【発展期→リーディング期】 - 大学や研究機関又は産業界との効果的な連携を主体的に取り組んでいること - 地域との連携、他の高等学校や小中学校等と継続的・組織的に連携していること - 国際感覚等を育てるための効果的な取組を実施していること - 科学部等理数系の教育課程外の活動の充実や、科学技術・理数系コンテスト等への参加促進のための取組を実施していること - 理工系領域を志す女子生徒を育成する取組を実施していること	- 複数の大学・研究機関や企業との学校主導による連携の拡大、OB・OGの活用 - 生徒の興味関心に応じた対応を可能とする外部機関との連携体制の高度化 - 大学や企業等との共同研究の実施、他校の参画の受入れ - 総合型選抜・学校推薦型選抜や、大学入学後の単位認定制度の導入、高大接続の入試改革の検討 - 小中学生への研究発表や他校との共同研究の実施【年2回以上】 ◆ 国際会議・大会への参加【年1回以上】 ◆ 国際共同研究・国際交流の実施【年5回以上】 - 外国語によるプレゼンテーション・ディスカッションの機会の確保【年3回以上】 - 科学部等の理数系の教育課程外活動と教育課程内活動との連携の促進 - 各分野の科学部への参加者数増加に向けた取組の強化 - 理数系コンテストへの参加者数の増加【全国平均以上】に向けた取組の実施 - 女子生徒の理系選択者数増加【全国平均以上】に向けた取組の実施 - 女性研究者による講演等の開催、保護者・教員への情報提供【年2回以上】			

成果共有・発信 	創成期	発展期	リーディング期	認定枠
観点	実施する取組例			
【創成期→発展期】 - 過去の成果をもとに、学校内での研究開発の成果の共有・継承や、成果の対外的な発信・普及に向けた取組を実施していること - SSHの取組で開発した教材やノウハウが他校（SSH指定校以外の学校を含む）で活用されている事例を収集していること	- 校内掲示や図書室の活用 ◆ 成果物のHPへの公開【月 1 回程度の更新】			- 校内掲示や図書室の活用 ◆ 成果物のHPへの公開【月 1 回以上の更新】
【発展期→リーディング期】 - 過去の実績も含め、研究開発の成果の積極的な発信・普及を実施していること - 他校も含めたノウハウの共有・継承等の取組を積極的に実施していること	他校における成果物の活用事例の把握、活用事例を参考とした教材の改善			◆ 他校における成果物の活用事例の把握、活用事例を参考とした教材の改善
		- 校内掲示や図書室の効果的な活用 ◆ 成果物のHPへの公開・アクセス数増加に向けた取組の実施・促進【月 2 回以上の更新】 - 雑誌・メディア、講演会等での積極的な発信 ◆ 視察・公開授業の積極的受入れ【年 3 校以上】 ◆ 他校との共同研究を通じた教材・指導法の普及 - 総合型選抜・学校推薦型選抜や、大学入学後の単位認定への活用状況の公表 ◆ 他校における成果物の活用事例の把握、活用事例を参考とした教材の改善 - 他校における「理数探究基礎」「理数探究」の開設支援		- 雑誌・メディア、講演会等での発信 - 視察・公開授業の受入れ【年 1 校以上】 - 今までの成果をもとにした、教材・指導法の普及

管理機関の取組 	創成期	発展期	リーディング期	認定枠
観点	実施する取組例			
【創成期→発展期】 【発展期→リーディング期】 - 管理機関の考えが本事業の目的にあったものとなっていること - 管理機関の考え、戦略等が明確となっていること - 管理機関による支援が適切な規模、量等となっていること - 管理機関による取組の管理方法や管理体制が適切なものとなっていること - 管理機関による成果発信・普及の取組が適切なものとなっていること - 管理機関において、SSH指定校で開発された教材やノウハウを他校に普及するための支援を行っていること	- SSH事業を活用した理数系教育の方針の明確化 - 理数系教育の推進に係る独自支援（事業）の実施 - 研究成果に関する情報共有の機会の確保（指導者向け研修会、生徒研究発表会等） - コーディネーターの活用等による域内・近隣の学校や研究機関、企業等の連携促進 - 先進校等の成果を活用した各校の段階に応じた支援（共通教科「理数」等の開設に繋がる支援の実施、予算・人員の確保、指定校への指導・助言等） - 域内の指定校における開発教材の情報集約・整理及びHP等を通じた効果的発信			- SSH事業を活用した理数系教育の方針の明確化 ◆ 理数系教育の推進に係る独自支援（事業）の実施 - 研究成果に関する情報共有の機会の確保（指導者向け研修会、生徒研究発表会等） ◆ コーディネーターの活用等による域内・近隣の学校や研究機関、企業等の連携促進 ◆ 指定校の自走化に向けた資金確保に対する支援 - 先進校等の成果を活用した各校の段階に応じた支援（共通教科「理数」等の開設に繋がる支援の実施、予算・人員の確保、指定校への指導・助言等） - 域内の指定校における開発教材の情報集約・整理及びHP等を通じた効果的発信